

# 個人山行

# 佐渡島



平成 30 年 6 月 1 日 (金)～3 日 (日) 初日曇り、のち晴れ  
参加者：岡本 (L)、右田 (記録)

以前から行きたいと思っていた佐渡島に岡本さんからお誘いがあり、二つ返事で決定。名神高速道路が 20 時から通行止めということで 5 月 31 日 (木) の午後 6 時に大阪を出発。途中、米原ジャンクションの手前で渋滞が発生していたので、急遽、湖西道路経由で北陸道へ。大したロスもなく、午前 1 時頃に新潟港フェリーターミナルの立駐に到着し、車中で仮眠。5 時前に起床し、フェリーターミナルへ。待合所で千葉芳山の女性二人と知り合い、同行することになる。2 時間半ほどで佐渡島両津港に到着。女性二人とタクシーに相乗りし、和木登山口へ。途中、運転手さんのトキや金山の話が面白かった。登山口から天然杉の遊歩道に行く。かなりの樹齢の杉の老木が霧とマッチして幻想的である。遊歩道を過ぎてほぼ平坦な登山道を行くと、金剛山 962m への分岐に出る。折角なので金剛山をピストンする。そんなに距離はないかと思いきやアップダウンがあり、霧で濡れた樹林帯でズボンがびしょ濡れになりながら、見晴らしのよさそうなピークに到着。生憎、ガスって何も見えない。コースに戻り、ドンデン山荘方面へ向かう。途中、イワカガミ、カタクリが沢山咲いている。そして今回の目的のシラネアオイにもご対面。景色は楽しめないが花が多いので満足。牛が放牧されていたというドンデン池付近を過ぎると尻立山 940m の頂上。このころになるとようやく景色も見え出す。尻立山は展望の良いところだ。ここから 30 分ほど下ると車道に出てすぐにドンデン山荘に到着。早速、風呂に入り、デッキで生ビールで乾杯。食事も美味しく、特に全国で 4 位にランクされているという佐渡コシヒカリがうまかった。4 人部屋を二人で独占し、ぐっすり。



天然杉の遊歩道を行く



サンカヨウ



タニウツギ



ヒトリシズカ



尻立山頂上



ドンデン山荘

2日目。快晴。今日も千葉のお二人と同行。下山後の行動時間を確保するため、5時30分に出発。しばらく車道を歩き、登山道へ。今日も花が多い。特にタニウツギが沢山咲いていてきれいだ。マトネあたりからレンゲツツジも沢山見られるようになった。このコースは、花の多い樹林帯から急に開けた場所に出ることの連続で変化があって面白い。ただ、期待していた残雪が今年は全くなく、残念。金北山 1,172m の登りに入ったところから、シラネアオイが沢山出てきて写真撮影が忙しくなる。群生しているところもあり、見ごたえがある。また、途中のあやめ池は、花は咲いていなかったが、雰囲気の良いところだ。20分ほど登ると金北山頂上に到着 9:35。米軍の通信基地だったという建物があり、イマイチ。昼食後、防衛省の管理道路（砂利道）を下る。対面の山の頂上には防衛省のレーダーが物々しく建っている。ソフトクリームを目指して下るのみ。ようやくタクシーの待つ白雲荘に到着 11:00。タクシーで両津港に到着。ここで千葉のお二人とお別れ。お二人はこれからレンタカーで佐渡観光。我々は12時30分のフェリーで新潟港へ向かう。フェリーでの2時間30分はビールも飲まずお昼寝。新潟港に到着後、車で弥彦山へ向かう。ドライブウェイを頂上近くまで行けるので、歩きは10分ほど。頂上からは新潟平野と日本海・佐渡島が望める。ここは日本三彦山のひとつで他に福岡県の英彦山と兵庫県の雪彦山がある。下山後、途中の温泉に浸かり、柏崎の道の駅で泊まる。



レンゲツツジ



シラネアオイ



金北山への縦走路

3日目。快晴。今日は、大阪に帰る日だが、時間に余裕があるので、嶋原さんお勧めの米山 992m に登ることにする。高速で米山まで走り、水野林道登山口へ。駐車場には3台ほど止まっている。6:00 軽荷で軽快に登る。岡本さんが飛ばし、コースタイムで1時間30分程のところを40分程で頂上到着。付いていけないので写真を撮りながら登る。頂上は360度の展望。天気も良いので爽快。きれいな避難小屋もあり、地元ではよく登られている山なのだろう。下りも同じ時間で下る。7:45着。混雑を避けて早めに帰阪。大阪14時30分頃到着。残雪・花のピークとも過ぎていたが、それなりに楽しい山行でした。岡本さん、往復の運転お疲れ様でした。



弥彦山



米山頂上の避難小屋



米山頂上